# 微小粒子状物質等専門委員会における調査検討項目及びスケジュール(案)

# 1. 主な調査検討項目

【PM2.5・光化学オキシダント 共通】

- (1) 現象解明に向けた取組について
  - ・発生源情報の整備(排出インベントリの精緻化等) … 関連資料:資料5
  - ・二次生成機構の解明 … 関連資料:資料6
  - ・シミュレーションモデルの高度化
  - モニタリングデータ等の解析
- (2) 発生源ごとの寄与割合について
- (3) 越境大気汚染の寄与について … 関連資料:参考資料3
- (4) これまでの施策の評価について
- (5) 今後必要な対策について

# 【光化学オキシダント】

- (6) 環境改善効果を適切に示す指標について … 関連資料:資料7
- (7) 注意報発令時の措置の在り方について

### 2. 平成 26 年度のスケジュール

		主な内容
		・これまでの取組について
第1回	3月12日	* * *
		・専門委員会の進め方について
第2回	5月頃	[PM2.5]
		・越境大気汚染の寄与について
		・現象解明に向けた取組(平成26年度)について
		【光化学オキシダント】
		・データ解析結果(H25 検討会報告書)について
		・環境改善効果を適切に示す指標案について
		・現象解明に向けた取組(平成 26 年度)について
第3回	8月頃	[PM2.5]
		・発生源ごとの寄与割合について
		・これまでの施策の評価について
		【光化学オキシダント】
		・環境改善効果を適切に示す指標(中間取りまとめ)
第4回	11 月頃	[PM2.5]
		・発生源ごとの寄与割合について
		・これまでの施策の評価について
		・国内における排出抑制策の在り方について
第5回	1月頃	【PM2.5】
		・国内における排出抑制策の在り方(中間取りまとめ)

# 微小粒子状物質(PM2.5)及び光化学オキシダントの総合的な対策の推進

#### 発生源 問題点 オキシダント 国内 前駆物質 環境基準達 成率1%未 VOC 人為起源 N0x•工場事業場 年平均値は S<sub>0</sub>x 漸増傾向 •自動車 必要な取組 等 •船舶 注意報発令 •航空機 地域広域化 •家庭用設備 野焼き など PM2. 5とオキシダント は密接に関連 自然起源 PM2. 5 •土壌 -黄砂 測定数、成 •火山 分分析の充 酸性雨 実が必要 •森林火災 黄砂 ◆ 環境基準達 •植物 など 成率が低い SPM 海外(越境) (3~4割 弱) 西日本地域 の状況が悪 い傾向

- ・環境基準達成状況が非常に低い
- •生成機構等、現象解明が不十分
- 対策検討に必要な発生源データが不足
- ・シミュレーションモデルの精度が不十分

- 〇モニタリングの充実
  - ・PM2.5、前駆物質モニタリング(成分分析含む)
- 〇発生源の把握・生成機構の解明
  - 発生源情報の整備
  - •二次生成粒子の挙動解明
- ○シミュレーションモデルの高度化
  - ・より再現性が高いモデルの構築
  - ・越境大気汚染の寄与解明
- 〇対策の検討・実施
  - ・国内対策の検討
- 〇光化学オキシダント対策
  - 環境改善効果を適切に示す指標の検討等



国内発生源対策の推進